

第9期那須塩原市高齢者福祉計画（介護保険事業計画）（素案）に対する
市民意見募集の結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和5年11月27日（月）から令和5年12月26日（火）まで
- (2) 意見提出者数 4人
- (3) 意見件数 11件
- (4) 提出方法

提出方法	直接書面	郵送	ファクシミリ	電子メール	ホームページ	計
人数	0人	0人	2人	0人	2人	4人

2 提出された意見と考え方

第9期那須塩原市高齢者福祉計画（介護保険事業計画）（素案）に対する意見と市の考えは次のとおりです。なお、意見の掲載は受付順とし、読みやすさを考慮し、表現を一部変更しています。

受付番号1

該当の頁	意見	市の考え方
意見者指定なし (P93)	<p>本市に住む高齢者として一番重要と思われるのは、移動の方法を確保することではないでしょうか。</p> <p>当方も今春、急性脳梗塞で入院をし無事退院できましたが車の運転が公安委員会の許可が出るまで約一か月間できませんでした。仕方なく自転車とゆーバスを使って食料品等の買い出し、近隣の医療施設への移動を行いました。不便の上ありませんでした。</p> <p>市外はともかく、市内の移動に支障があってはなりません。特に当市において近隣の医療施設への移動方法を十分に確保する必要があります。当市もいろいろな施策が行われているものと思われませんが、使いやす方策（料金を含め）を行っていただきたいです。</p>	<p>第2次那須塩原市地域公共交通計画に基づき、移動手段の確保・維持や利便性向上に向け、いただいた意見を参考に検討を進めます。</p>

該当の頁	意見	市の考え方
<p>意見者指定なし (P78)</p>	<p>一人暮らしの友人が軽い認知症にかかり現在病院より薬をもらい、飲んでおります。最近まで車にも乗っていましたが今はダメとのことでした。</p> <p>以前は趣味のサークルにも出かけていましたがコロナ等の影響か認知症になりサークルを止め、また自分でも意欲がわかず止めているとのこと。当方市でボランティア活動を20年近くしていますが毎年数回誘ったりしていましたが、やはり打合せ等、当日のボランティア活動で参加者、主催者にも迷惑がかかる可能性もあると判断し急遽やめていただくことになりました。友人は出かける機会が減るとともに誘いも難しくなり、ますます孤立、社会参加がますます難しくなっております（炊事や洗濯等ほとんど自分でできるようですが）。これではますます認知症が進んでしまいます。この初期段階の認知症は軽度認知障害（その期間は5年程度）と言うそうですが、当方の周りにも数人おられるようです。また話をすると散歩途中で時々自分の居場所が分からなくなったとも言っておりました。</p> <p>御承知のように団塊世代が後期高齢者に入りますますます軽度認知障害の方が増加します。認知症ゆえの行方不明者も増加すると考えられます。先般テレビでも行方不明者の死亡が増加しているとの放送がありました。また介護施設への入所等においても職員等様々な問題があり介護難民の増加が予想されます。少しでも住み慣れた地域でいきいきと長く過ごせるようになりたいものです。</p> <p>認知症カフェということで調べてみましたが健康長寿センターにあることが分かり、ゆ〜バスをしらべましたが、東三島、西三島、三島地区内の方はバスではいけませんでした。残念です。バスは西那須野東口→西口の一方向便のみでした。</p> <p>今後増加する軽度認知障害の方が住み慣れた地域でいきいきと過ごせるように、下記お願いしたいと考えます。</p> <p>1 認知症カフェ（公私及び民間団体施設等に）を増やしていただきたい -最低限ゆ〜バス若しくは歩いて行ける程度の距離に-</p> <p>(1) 個人の場合は補助金等の援助 (2) 公、民間の介護施設でのカフェ設置（月に何回か、登録者、お茶程度で参加費徴収）</p>	<p>本市においては、市民の皆様が認知症（MCIを含む。）について正しく理解し、万一認知症となってしまうても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていけるよう、認知症発症前から発症後までの地続きの支援（発症予防、理解促進、発症後の支援等）が重要と考え、各種取組を実施しています。</p> <p>いただいた意見については、認知症に係る施策の更なる充実の参考とさせていただきます。</p>

	<p>(3) 認知症抑制のための専門家、職員の巡回派遣等 (4) 地域包括支援センターと連携づくり</p> <p>2 軽度認知障害者の事前登録及び行方不明時の検索システムづくり</p> <p>-行方不明者の素早い検索-</p> <p>(1) 軽度認知障害になった場合の事前登録を勧める (住所、氏名、写真等)</p> <p>(2) 行方不明者の検索システムづくり メール配信サービス（みるメール）に行方不明者の検索版を作り早く探せるようにする。</p> <p>追記)</p> <p>1 軽度認知障害（MCI）について 認知症は根治できないとの事ですが軽度認知障害（MCI）の段階なら予防可能で断崖絶壁で踏みとどまっているとのこと。詳細は下野新聞 12 / 19 14面 医師が勧める認知症予防について参照下さい。</p> <p>⇒市社会全体で増加する介護費用の削減につながる軽度認知障害（MCI）の段階の方の認知症予防を積極的に進めていただきたい。</p> <p>2 認知症患者の徘徊（死亡、行方不明）について 本件についても提案しましたが先般のNHKテレビで放送されていました。行方不明になった時の探すシステムの例で鳥取県で実現されておりました。デジタル社会ならではのシステムで本当に感激致しました。参考にして頂ければ幸いです。ただこのシステムでも問題がありました。</p> <p>①システムに登録していない人は探せない。（システムの問題ではなく我々の意識、社会の問題） ②登録のデータに顔写真がない（個人の秘守義務等）</p> <p>⇒高齢化社会は、認知症の方、軽度認知障害（MCI）の方は特別ではなく男女共生と同じように普通な社会となるように市としても（私達の意識改革含め）対策大いに啓蒙していただきたい。</p>	
--	--	--

該当の頁	意見 ※下線及び番号は市で追記	市の考え方
P8	<p>【生産年齢減少の見込みについて】</p> <p><u>(A) 子供が市内外、県外の大学に進学して卒業しても市内や那須塩原市の実家から通える就職口が少なく、教師や公務員以外は、県外で就職してしかも結婚年齢になってもUターンやIターンして戻れないため、県外で結婚して、子どもも生まれてそのまま家を作る。</u></p> <p><u>結局、2世代世帯→高齢夫婦世帯→独居高齢世帯となってしまう、高齢者問題が発生してしまう。</u></p>	<p>関連する部分について、任意の番号を付して取りまとめ、次のとおり回答します。</p> <p>(A) について、第2次那須塩原市総合計画において、移住定住促進や企業誘致を掲げるとともに本計画においても移住定住の促進に取り組むとしており、引き続き生産年齢人口の増加に向けた施策を実施していきます。</p>
P13	<p>【高齢夫婦世帯数、高齢独居世帯数の増加見込み】</p> <p><u>(A) 2世代世帯→高齢夫婦世帯→高齢独居世帯の問題解決には、大学卒業者の就職口の開拓、企業誘致を進める必要がある。</u></p>	
P17	<p>【通院や買い物のための移動支援40.4%、寝たきりにならないための施策27.0%】</p> <p><u>(B) 高齢者の自動車免許証の返上問題やタクシー運転手の高齢化、成り手の減少問題、ゆータクの大赤字問題も含めて、ゆータクの見直しではなく、ゆーバスの広域化、利用しやすい体制整備をお願いします。</u></p> <p><u>ゆーバスの改善策としては、(1)ジグザグ運行化（時間は掛かってもOK）、(2)1時間に最低1便化、(3)バス停の200m間隔化、(4)ゆーバスで救えない地域は、年齢ではなく、実態に即してタクシー料金助成事業を拡大したら、と提案します。</u></p>	<p>(B) について、御指摘のとおりゆータクの財政的な問題等がある中で、持続可能で利便性の高い地域公共交通の確保・維持が課題であると認識しており、取組を進める中で、御提案を参考にさせていただきます。</p> <p>(C) について、武蔵野市のムーバスについて確認し、参考とさせていただきます。</p>
P22	<p>【通院や買い物などに利用する交通手段に対して対応が不足している】</p> <p><u>(C) 先進事例の東京都武蔵野市の地域コミュニティバスの実態と過去の経緯を調べることを提案します。</u></p>	
P26	<p>【高齢独居世帯や高齢夫婦世帯の増加、地域で幸せに暮らすためには】</p> <p><u>(A) 2世代世帯→高齢夫婦世帯→高齢独居世帯の悪循環を阻止するためにも大学を卒業した子供たちが那須塩原市で高齢者と暮らせる施策＝就職口の拡大を図るべきです。</u></p>	

<p>P48</p>	<p>基本目標Ⅰ（将来を見据えた元気で幸せな人づくり） <u>(D) 日常生活支援総合事業（総合事業）の充実に追記</u> <u>・高齢者が家に閉じこもるのではなく、歩行可能である限り自分の足で外出できる体制を作る</u></p> <p>基本目標Ⅱ（人とつながり、穏やかに過ごせる暮らしづくり） <u>(A) まず一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯を増やさない施策作りを実施する。特に大学卒業後の那須塩原市の子供たちの就職口の斡旋、企業の誘致、サテライトオフィスの進出など交通に便利で首都圏に近い那須塩原市の優位性をアピールする。</u></p> <p>基本目標Ⅲ（どこでもいつでも安全で安心していられる地域づくり） <u>(E) 自治会加入率の向上、向こう三軒両隣、地域コミュニティの充実を図ること。更に子供のいる、いないにかかわらず、共働き壮年世帯と市役所との関係性の強化を図ることを検討ください。（自治会非加入が多い層）</u></p> <p>基本目標Ⅳ（介護保険サービスの基盤整備と事業の円滑な運用） <u>(F) 温泉市としての施設介護の充実も図ってほしい。</u></p>	<p>(D) について、「高齢者が歩行で外出できる体制づくり」については、御意見のとおり日常生活支援総合事業（総合事業）による介護予防の取組に加えて、介護保険事業の介護予防サービスの提供や外出手段の確保・支援等の多様な高齢者福祉施策が複合的に作用して実現されるものと考えます。当体制の整備については、総合事業に限らず、高齢者福祉施策全体の目的のひとつとして取り扱うこととし、各種施策を実施していきます。</p> <p>(E) について、安全安心な暮らしには地域のつながりが大切であり、今後とも、市自治会長連絡協議会と連携し、自治会加入促進及び活動促進に取り組んでいきます。</p>
<p>P93</p>	<p>【公共交通ネットワークの形成】 <u>(G) 膨大な赤字を増やす「ゆータクの再編」には、(1)市の事業予算管理ができないこと、(2)相乗りへの不満、(3)乗車・降車、予約の煩雑さもあるため、ゆーバスの体制拡充と利用の便利さの検討とそれでも対応できない地域に住む市民への年齢ではなく、実態でタクシー料金助成事業の見直しを図ること。</u></p>	<p>(F) について、介護保険施設等の基盤整備については、入所待機者の状況や地域の事業所整備状況を踏まえて、必要なサービス供給が可能となるよう、引き続き、検討を進めます。</p>
<p>P94</p>	<p>【高齢者の運転免許証の返上推進】 <u>(H) ゆーバス、タクシー料金助成事業、そして民間バス事業者やタクシー事業者との棲み分け、将来動向など那須塩原市全体の交通体系を見直して、乗り換え1回で行きたいところ（通院、買い物、3鉄道駅）へのアクセスを検討してほしい。</u></p>	<p>(G) について、御提案の内容については、市全体の交通政策を考える中で、参考とさせていただきます。</p> <p>(H) について、御要望として承ります。</p>

受付番号 4

該当の頁	意見 ※カッコ内は市で追記	市の考え方
意見者指定なし (P59.93)	<p>私の住んでいる地区は、稲村、若松で、県営団地も多くあり、元気なシニアも多く、公民館の使用も十分ではありません。できたら豊浦（鍋掛）のシニアセンターみたいな施設を小規模でもいいので考えてください。豊浦（鍋掛に行くの）は、運転できないシニア（にとって）は不便です。</p> <p>空き地を利用して、近辺で家庭菜園等も考えてみてください。</p>	<p>第9期高齢者福祉計画においては、「高齢者の多様な交流の場の支援」を重点施策として掲げています。今後も生きがいサロンをはじめ各種施策の周知、支援に努めますので、地域においても活動を進めるための気運の醸成、取組をお願いしたいと考えます。</p> <p>また、高齢者をはじめとした市民の移動手段について、計画に「公共交通ネットワークの形成」を掲げており、利便性の高い地域公共交通の確保に向けて取り組みます。</p>